

ふしみサラダボール子育て情報

「発達と遊び」

令和4年12月7日号

板橋富士見幼稚園



幼児期は虚構の世界で遊ぶ

幼児期は、現実と虚構に境がありません。時に「宇宙を飛び回ったよ」「〇〇したんだよ」と、嘘のようなお話を聞かせてくれることがあります。子どもにとっては、嘘も現実なのです。

私たち大人は、常に現実の世界にいるため、虚構の世界での空想の概念からは離れています。しかし子ども達は、日々現実の世界に居ながらにして、虚構世界を楽しむことができますのです。今日は、子どもの「うそっこ」の世界を感じてみませんか。

間もなく、クリスマスがやってきます。サンタさんは本当にいるのでしょうか。寝ている間に煙突からお家に入って、そっと枕元にプレゼントを届けてくれるサンタさん。大人からすれば、ファンタジーの世界として片付けてしまいます。でも子ども達は、サンタさんが遠い国から自分の家にプレゼントを持ってきてくれると信じているのです。素敵ですよ。大人は、遠い昔に忘れ去ってしまった気持ちです。

実は、幼児期に虚構の世界で空想をめぐらせることは、知的発達を加速させる源泉となります。

いま、思考の多様性という言葉あります。ものを考える時に、ああでもない、こうでもないと思い巡らすことは、空想の世界だからこそよりできることなのです。思考力を豊かにするためには、この想像する経験を沢山させてあげることが子育てのコツかもしれません。「〇〇ちゃん、サンタクロースさんがもうすぐ会いに来るそうです。それも〇〇ちゃんのために、プレゼントをもってきてくれるそうです。楽しみに待ちましょう。」と子どもと一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。

幼稚園のサラダボールのクリスマス会にも、サンタさんがやってきます。是非ご一緒に幼児期の世界を楽しんでみませんか。喧噪の現実世界から、ひととき虚構の世界を楽しんでみてください。いつまでも、子どもの心を忘れない大人って素敵です。

【写真】12月4日は作品展でした。「絵本の世界」をテーマに想像を膨らませながら製作活動をじっくりと楽しみ、子どもたちのこだわりが詰まった作品が出来上がりました。

